

月/日	/ ~		/	/ ~ /	/	
月/日	入院日(手術当日)		帰室後	術後1日目	術後2~4日目	術後4~5日目(退院)
達成目標	入院から手術までの検査、治療、処置など経過を理解できる 安全な入院生活を送ることができる 安心して手術に臨むことができる		術後の血圧、脈、酸素量が安定する 痛みのコントロールができ、術後1日目に歩行できる	食事がスムーズに食べられる 発熱などの感染兆候がない 行動範囲が広がる		創部の異常、感染がなく、日常生活 が送れる 退院後の生活について理解できる
治療処理 薬剤 リハビリ	今までに内服している薬は、看護師へお渡しください、医師の指示に基づき薬を内服します 病棟で点滴をして手術室に向かいます 術前に術着・弾性ストッキングを着用します 術前はショーツ、術後はオムツを着用します 医師の指示に従って内服します 		手術後は点滴や尿の管が入った状態で 部屋に帰ってきます モニターや酸素マスク等をつけ、全身の状態を観察します	経過を見て、モニター をはずします 歩行可能であれば 弾性ストッキングを外せます 痛み止めの内服薬を使うことができます 飲水可能であれば点滴を 抜きます 	術後3~4日目に婦人科外来で 退院前診察があります	
検査	手術前に必要な検査が外来で終了していない場合は追加の検査を行うことがあります			採血があります	 検査を行う時はお知らせします	
活動 安静度	特に制限はありません		ベッド上安静です 麻酔から覚めたらベッド上で 足を動かしてください	術後初回歩行は看護師と 一緒に行います その後問題なければ、 病棟内は自由です	術後3日目以降病院内は自由です	
栄養	入院後は食事、水分はとれません		食事、水分はとれません 麻酔から覚めたら、うがいは できます 	朝から飲水ができます 昼から食事摂取できます	制限はありません	
清潔	お臍の掃除をします 爪を切っているか、マニキュアがついていないか 確認します 			蒸しタオルで体拭きをします	尿の管が抜けて、医師の許可があれば 術後3日目からシャワー浴が可能です 	
排泄				尿の管を抜きます	制限はありません 	
説明 教育 指導	主治医及び麻酔医師、看護師が 手術や麻酔について説明します 看護師が生活上のことなどを 聞かせて頂きます 手術のために準備する物 ・ナプキン1袋と大きめのショーツ ・薬のみもしくはストロー付きコップ ・ティッシュペーパー 		手術は 時 分 からです ご家族の方は手術が 始まる前には病棟へ お越し下さい 一緒に手術室へ参ります 手術が終わるまで 待合室で待つて いただきます 	ご家族に手術結果を 説明します  手術後に痛み・息苦しさ・ 吐気等がありましたら ナースコールを押して 下さい	尿がスムーズに出るように 水分を積極的にとりましょう 早期回復の為に手術後から 体を動かしていきましょう	退院後の生活について説明します 